

## 糖尿病患者の食事改善に対する自己管理支援 ICT システム DialBetesPlus の有効性の評価

DKD(糖尿病性腎臓病)の有病率は、2型糖尿病の増加に伴って世界的に増加している。末期腎不全によって腎代替療法を受けている患者の数は2010年には世界で262万人であり、2030年には倍以上の544万人に増加すると予測されている<sup>1</sup>。2型糖尿病およびDKDの進行を予防する最も基本的な方法の一つが食事と運動習慣の改善である。脇(2014)らによって開発された2型糖尿病患者向け自己管理支援システム DialBetics は、3ヶ月間の非盲検ランダム化比較試験において患者の血糖コントロールを改善させた<sup>2</sup>。一方で、同様のモバイルヘルスがDKDに対しても有効であるかどうかは示されていない。DKDを有する患者に対する自己管理支援システム DialBetesPlus の有効性を評価するため、2018年から2020年にかけて非盲検ランダム化多施設共同臨床試験が行われた。主要アウトカムは12ヶ月後の尿アルブミン濃度の変化、副次的アウトカムはBMI、血液検査結果、食事、服薬アドヒアランス、QoLであった。本研究では、この臨床試験の結果のうち食事データの解析を行なう。抄読会では、DialBetesPlus の有効性評価のために実施された臨床試験の概要を説明する。また、得られた食事データの現時点での解析計画について発表する。

### 【参考文献】

- 1 Liyanage T, Ninomiya T, Jha V, Neal B, Patrice HM, Okpechi I, et al. Worldwide access to treatment for end-stage kidney disease: a systematic review. *Lancet* 2015 May 16;385(9981):1975-1982. [doi: 10.1016/S0140-6736(14)61601-9] [Medline: 25777665]
- 2 Waki K, Fujita H, Uchimura Y, Omae K, Aramaki E, Kato S, et al. DialBetics: A Novel Smartphone-based Self-management Support System for Type 2 Diabetes Patients. *J Diabetes Sci Technol* 2014 Mar 13;8(2):209-215 [FREE Full text] [doi: 10.1177/1932296814526495] [Medline: 24876569]